

「モノづくり」で自立生活を支援する

自助具製作の世界

加齢や機能的障がいにより日常生活に不便が生じた時、介助者の存在はなくてはならないものです。しかし、介助される側の本音は、できるだけ自分で、自分が好きなようにやりたいものではないでしょうか。自助具は、その人の残存能力を最大限に生かしつつ、できない動作を補助しながら、自立した暮らしを支援する福祉用具です。今回は、自助具製作に携わるボランティアや専門職の皆さんに製作の方法や思いをうかがい、利用者主体の自立支援のあり方について、改めて考えてみたいと思います。

一人ひとりに合った自助具

「自助具」は、病気や障がいで腕や手が不自由になり、日常生活に不便を感じる人が、その残存能力を生かしながら、できるだけ楽に、自立した生活がおくれるよう工夫された福祉用具のひとつです。

同じ福祉用具のなかでも、市販品（例；車いす、ベッド、ポータブルトイレなど）は標準化されたものです。

しかし、自助具には、食事や着替えなど、身の回りの動作に合わせて、一から製作するオーダーメイドの自助具、市販されている自助具、市販品に改良を加えた自助具などがあります。

生活必需品がほとんど

昨年、設立30年を迎えた自助具製作のボランティアグループ「大肢協・ボランティアグループ自助具の部屋」（以下、

「自助具の部屋」）では、記録として残っている過去25年間（1988年～2012年）で、2,094点の自助具を製作してきました。製作された自助具は、家事、食事、通信、趣味、整容・更衣など、使用する目的やシーン別に分類されます（図1）。このデータをもとにオーダーの傾向をみていきます。

最も多いのが「食事」。箸、スプーン、フォーク、茶碗ホルダーなどです。次に多いのが、爪切り、ソックスエイド、ブラシなどの「整容・更衣」、パソコンのキーボードカバー、鉛筆ホルダーなどの「コミュニケーション」と続きます。

自助具は、衣・食・住に関わる「生活必需品」となっているからか、年月を経ても製作依頼の傾向は、ほとんど変わりません。

ただし、近年急増し、現在も一定数の依頼を受けている自助具があります。それは、パソコンのキーボードカバーです。パソコンを操作する際、手が震えたりして、違うキーを押さないように工夫されています。パソコンの買い替えに伴い、キーボードの形状が変わるからか、リピート率も高くなっています。

改良を重ねて最適な形で

自助具は、病院や福祉施設などでも製作され、利用されています。

製作にあたっては、使用する人の病状や障がいの状態、身体能力を知ることから始まります。実際に、動作を観察、分析し、考えられるいくつかの方法の中から、最も適した構造、素材、色、デザインを選択します。

考えが具体的になったら設計し、製作に入ります。できあがった自助具は、実際に使ってもらい、改良を加え、最適な形にして提供されます。実際に、自助具製作はどのように行われているのか、自助具を使った人にどんな変化が現れるのか、現場を訪ねてみました。

製作現場から①

リハビリテーション病院

- 社会医療法人愛仁会リハビリテーション病院
作業療法科 主任 塚本 賢司さん
- 〃 副主任 松尾 泰直さん

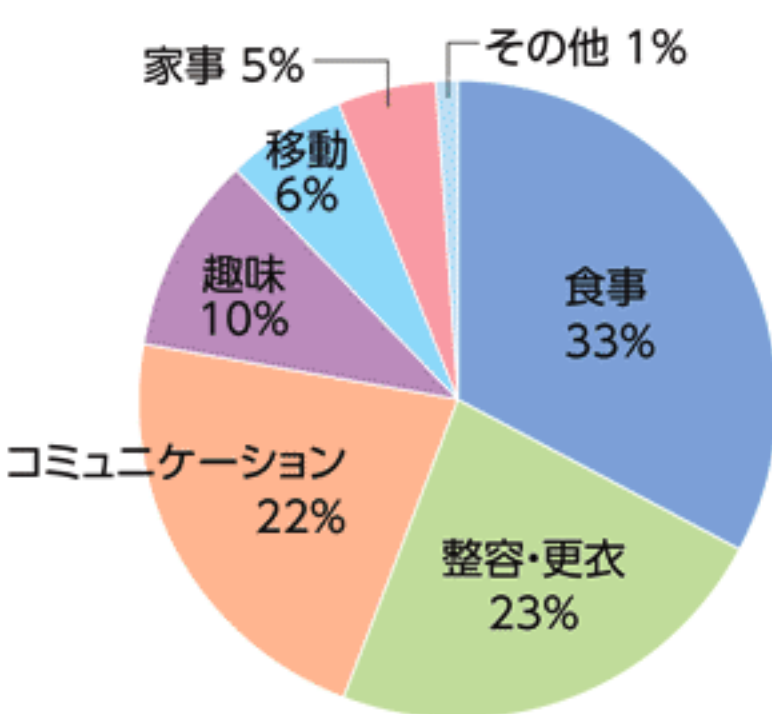
「患者本人を理解する人」が製作

社会医療法人愛仁会リハビリテーション病院では、入院患者の約3分の1が自助具や福祉用具を使用しています。

使用する自助具は、院内の木工室で製作しています。実際に作るのは、日々患者に接し、身体機能や患者本人のことをよく知る作業療法士が担当しています。なお、市販の自助具も使っています。

「自助具のメーカーであれば、メンテナンスや、自助具が破損してケガをするようなトラブルに対しても、PL法（製造物責任法）に基づき、素早い対応ができる

（図1）分野別製作割合（総数2,094点）



からです」と話すのは、同病院作業療法科主任の塚本賢司さん。

自助具にリハビリ効果?!

自助具はどのような場面で使用されているのでしょうか。

「食事や衣服の着替えをスムーズにするものが最も多いです。院内独自の自助具としては、手が不自由な人のために、肘や足で押せるナースコールがあります」(写真)と話すのは、同科副主任の松尾泰直さん。



自助具は患者の足りない身体機能を補助する役割がありますが、リハビリの効果もあります。「患者さんは、ずっと入院されているのではなく、退院後、自宅で生活してもらわなければなりません。したがって、自助具製作にあたっては『いかに生活が楽になり、豊かになるか』考慮する必要があります。そのようにして作った自助具を使ってもらえば、患者さんは『能動的になって残存能力を引き出す』ことができます」と塚本さん。

練習+自助具で不便さを解消

自助具の利用は、患者本人の要望もありますが、ほとんどは専門職が勧めています。

作業療法士だけでなく、医師や看護師、理学療法士、言語療法士、医療ソーシャルワーカー等が会議を通じて、必要かどうかを検討しています。とりわけ、病棟での世話や入院中の関わりが深く、実際に自助具の使用をサポートする看護師との情報共有は、非常に重要です。

どのような自助具を製作するかについては、身体機能を評価しながら、日常動作の自立度をはかるFIM(フイム、機

能的自立度評価表※)で改善を判断します。

「例えば、腕が上がらない場合、作業療法士は、患者さんの腕の可動域など身体機能面とともに、食事、整容、更衣、清拭(風呂)、トイレなどの生活動作を評価して、生活上、問題になる

動作を具体的に予測します。実際に必要であれば、機能訓練を行います。それが難しい場合は、手段の一つとして自助具を使ってもらうこともあります」と松尾さん。

自立して、自分らしく

入院中、患者は、看護師や介護士から介助「してもらおう」ことが日常になりがちです。しかし、自助具を使うことによって「自分でできる」自信や達成感が生まれます。

「ある男性は、妻に負担をかけたくない。靴下は自分で履きたいと思い市販のソックスエイドを試しましたが、指先にも機能的障がいがあったので対応できませんでした。そこでご本人と指先の運動練習を行い、ソックスエイドの素材を硬いものへと改良した結果、靴下をご自分で履けるようになられ、『これで妻にいい顔ができる』と喜ばれました」と塚本さん。

自助具の使用は、自分らしい生活に近づけることができます。「阪神タイガースファンの患者さんが使うテレビのリモコンを、阪神タイガースの試合をよく放送するチャンネルのボタンを簡単に押せるよう改良しました。カスタマイズには、その人にとって価値のあることを主眼にしています」と松尾さん。

今や暮らしに欠かせない情報機器のパソコンも、使えると使えないでは生活に大きな差が出てきます。



院内の木工室。本病院では61人の作業療法士が在籍し、それぞれが担当する患者の状況に応じて自助具を製作しています。

「脊髄損傷のある方でも、マウスを使わずに画面のポインタを動かせるよう改良すればメールやウェブ検索ができ、世界が広がります。しかし、社会とつなぐ役割を果たし、患者さんの世界を大きく変えることができるのが自助具なんです」

「使いたくない」=「合っていない」

自助具の製作は、トライ&エラーで、結果を何度もフィードバックしながら、その人が使いやすいものに近づけていきます。中には、自助具を使いたくないという人もいます。

それは、その人の価値観があり、本人のわがままではありません。

事故などで障がいを負った人の気持ちはデリケートです。中には『もう治らないんや』『道具を使うなんてかっこ悪い』と道具を使うこと自体にマイナスイメージを抱き、拒否する人もいます。そこに寄り添って思いを理解する姿勢が大切です。

自助具を使う環境は日々変化します。本人の身体能力の変化、生活環境の変化、段々と自助具が使用できなくなったり、使用しなくなったりします。もちろん状態が良くなって、使わなくなることもあります。だからこそ状態にあわせて、改良し続けていくことが求められています。

※FIM(Functional Independence Measure)とは、機能的自立度評価表のこと。介護負担度の評価が可能。ADL(日常生活動作)評価法の中でも最も信頼性と妥当性があると言われ、リハビリの分野などで幅広く活用されている。

ボランティアグループ

自助具の部屋は、ビルの一室で自助具製作の依頼、相談、製作を行っています。約30人の会員の中から3人にお話をうかがいました。

「もらう気持ちでつくりなさい」 河野 晃広さん

製作依頼を受ける時は「爪切りを作ってもらえませんか」と道具の名前でオーダーされることが多いです。それに対し、こちらは「なにに不自由されていますか」とたずねます。自助具は不自由な部分を補助するためのもの。どこまでできて、どこからできないのか。つかめなくても押せるのか。右手はだめでも左手で支えられるのか。実際に動かしてもらいながら、可動範囲を探ります。また、日々の生活についてお話をお聞きしたうえで製作にかかります。

残念ながら、実際にお会いできず、メールや電話のやりとりで製作するものも少なくありません。使用に関するアンケートで「使えないから使っていない」という回答がみられます。多くは面談をしなかった場合で、こう言われるのが一番ショックです。

自助具づくりで、機能面に加えて、私が重視しているのは「見た目」です。グループに入会した時は「もらう気持ちでつくりなさい」と先輩に叩き込まれました。例えば、この「台付き爪切り」(写真)は、かわいいハート型にデザインし、ピカピカに磨いてお渡しました。とても喜んでいただけました。

自助具は、日常的に使用することがほ



とんどです。シンプルで使いやすく、使う度に気持ちがなごみ、楽しくなるような仕上がりを意識してつくっています。

残存能力の先に自助具がある 向原 誠さん

モノづくりが好きで、この活動を始めましたが、依頼者によって必要なものは一人ひとり違うので、自分の思い込みでつくるわけにはいきません。

例えば、食べ物を口に運びやすいようにカーブさせたスプーンも、その人の手の形や動き、癖や習慣に合ったカーブに調整しています。

また、自助具は、口を開けたら食べ物を入れてくれるロボットのようなものではなく、あくまでも道具。「握りにくい」不便があるなら、そのできない部分を補助するだけで、あとは慣れてもらう必要があります。パラリンピックの創設者・グッドマン博士の「失われた機能を数えるな。残された機能を最大限に生かせ」という名言はまさにその通り。残った機能でどこまでできるのか想定し、その先に自助具があると考えています。

先日、先天性の両腕麻痺障がいを持つ20代の女性に、外出時に使用する「折りたたみ式リーチャー」(写真)を提供しました。1本目は壊れたので素材と



構造を替え頑丈にしてお渡しすると親御さんから「おかげで娘の活動範囲が広がりました。スペアを2本お願いします」と手紙がきました。その方にあった自助具を作ることができた時が一番嬉しいですね。

「本当に必要か」を問うことも大切 津守 邦彦さん

依頼者と話をするなかで、思いついたアイデアを具体化して自助具を製作しています。例えば片手の不自由な一人暮らしの青年が、電子レンジを使う時、皿にラップをかけられないことが悩みでした。「片手でラップを切る自助具を作ろう」ということで考え出したのが、レバーを押すだけで切れる「ラップちゃん」です(写真)。とてもあざやかに切れるので、バリアフリーの展示会でも好評でした。

自助具を依頼された方へのアンケート調査で、「使っていない」と回答された方がおられますが、その理由を確かめて今後の活動に生かすことも重要と考えています。場合によっては工作技術の向上や、理学療法士・作業療法士から障がいと自助具の関わりについてアドバイスを受けることも必要となってくるでしょう。



社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会 大肢協・自助具の部屋

1983年、新聞社の福祉教室修了生で結成し、昨年、設立30周年を迎えた。自助具製作のほか、相談・講演・展示・講習会等を全国的に展開。全国に約30のグループネットワークがある。
TEL:06-6940-4189 FAX:06-6943-4668
e-mail jiyogou@daishikyo.or.jp

自助具は「こんなのがあったらいいな」という便利道具ではありません。その人の生活になくはならないもので、「依頼者がどの様な自助具を必要としているか」の見極めが大切です。活動を始めて20余年。障がいの子を持つ親御さんの深い愛情にふれたり、脳性マヒのある方の向上心の強さに感服したり、自助具一つひとつに思い出があります。モノづくりの向こうに、逞しく生きる障がい者を見ながら研鑽を積んでいきたいと思っています。

◆「自助具の部屋」が製作した自助具の一例◆

ギターピック



指がない人も手首にベルトで固定することにより、ギターを演奏することができる。

ガード付スプーン



スプーンに溜めがついているので、食事や介護のときに、スープでもこぼさず口元まで持っていきける

読書台



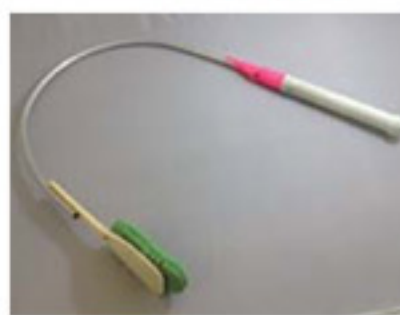
1ページずつめくって押さえながら、読書ができる。分厚い本にも対応。分解して図書館にも持っていきける

リコーダー



穴を完全にふさぐことのできない人も、ゴムシートでそれほど力をかけずに、正確に音を出すことができる

背中洗いブラシ



背中まで手が届かず、タオルでも洗いにくかった人もラクに洗える。軽量で握力の弱い人にも使いやすい

個別性が生活の質を高める

■森ノ宮医療大学理学療法学科教授 ■上田 喜敏さん

身体への負担を減らす

自助具を製作するには、まず、筋力の測定や関節を動かしやすい角度を探るなど動作を分析します。進行性の疾患には、将来の見通しも考慮しなければなりません。

ご本人にぴったり合った自助具を使用すれば、関節の負担が減り、炎症が治まることもあります。例えば、これまでボタンを指で押さえていたのを手のひら全体で押せるようにするだけで、負担はかなり違います。逆に合わないものを無理に使えば、症状の悪化や機能低下を招いてしまいます。

生活の“こだわり”を維持できる

自助具を個別製作する理由は、一人ひとりに合わせるためです。健常者には、市販の道具に自分を合わせることができ、そのまま使えます。しかし、機能的障がいがあると道具に合わせることは難しいのです。そこで「人に道具を合わせていく」ことが必要となってくるわけですが、簡単ではありません。

例えば、手肢に障がいのある子どもは、障がい者用のリコーダーを使っているにも関わらず、穴がふさげず、吹いているふりをしていたとい

います。その子に合わせてリコーダーを改良して渡すと、いろんな曲が演奏できるようになりました。

また、自助具を使うことにより、自分が気に入ったやり方、習慣を変えなくて済みます。魚の食べ方も、片側ずつ食べるのか、全部ほぐすのか。ジュースを飲む時も、がぶがぶ飲むのか、ちよつとずつ飲むのか。その時々でこだわりがあるのです。

自助具製作において、不便の解消や身体機能の向上だけでなく「生活の質」を高めるという点も考えたうえで提供したいものです。

自助具を勧めるときの注意点

専門職が日常のコミュニケーションのなかで、利用者の生活上の不便に気づいたなら、まず、声をかけ、試作品があれば「試しにつかってみては？」と、自助具を勧めてみるのもいいでしょう。本人の確認もせずに、先走りや思いこみで押しつけたり、本人が欲しくないものをつくったりしても、うまくいきません。いかに動機づけするのが重要です。

また、福祉用具をはじめとして、自助具の機能や効果について知り、正しく理解することが、専門職には求められます。

一人ひとりの違いに対応する姿勢を学ぶ

自助具製作の過程には、さまざまな考察がありました。依頼者の身体機能や日常動作を専門的観点から評価したうえで、その人の癖や習慣、好みや生活環境を知り、最適な自助具に近づけていくこと。また、提供後も引き続き、フォローをしていくこと。これらは、福祉専門職や活動者がサービスを提供する際にも、通じる考え方だといえます。自助具製作の現場が大切にしている、その人に合った対応、「個別性」について、今一度考えてみましょう。

講座案内

大阪市内在住・在勤・在学者

①社会福祉史の市民講座(第1回)

子どもたちを学校へ通わせてやりたい

～水上生活世帯不就学児童と中村遙の実践～

中村遙は、昭和6(1931)年、港区天保町の安治川畔で民家を借りて、舂(はしけ)などで生活する水上生活者の子どもたちを支援する、我が国最初の水上生活世帯児童のための施設「水上子供の家」(現、大阪水上隣保館)を立ちあげました。活動に対する偏見や無理解で苦闘する一方、同志社大学での学び、宣教師ハーベ・シードや四貫島セツルメント館長・吉田源治郎をはじめとする多くの人たちとの出会いや支援に支えられます。本講座では中村遙が取り組んできた社会事業の実践について学びます。

- 日 時…11月8日(土)午後2時～4時
- 講 師…阪野 学(大阪水上隣保館理事)
- 定 員…50人(先着順)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 会議室(4階)
- 受講料…無料
- 申込締切…11月5日(水)
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、チラシ・申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください
- 受講決定…当日直接会場にお越しください。定員超過でご参加できない場合のみ、ご連絡いたします

大阪市内の社会福祉関係事業所に勤務する方

②スキルアップ講座(第7回)

コミュニケーションが楽しくなる技術

仕事、家庭、友人関係などの人間関係の基礎であるコミュニケーション能力を高めることで、有効な人間関係を築き、自分に自信が持つことにつながります。利用者や職場の同僚・上司、家族との人間関係を円滑にすすめるように、実践的なコミュニケーション能力を身につけることを目的に開催します。

- 日 時…11月11日(火)
午前10時～午後5時
- 講 師…ナカムラ トモコ
(TEAM EXE代表 パフォーマンスアップコーチ)
- 定 員…50人(応募多数の場合は抽選)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 会議室(4階)
- 受講料…2,000円

◆上記講座の申込・問合せ先

①②③④⑤大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 🌐<http://www.wel-osaka.jp>

申込記載事項

【必須項目】①研修(講演会)名、②名前(ふりがな)、③年齢、④連絡先住所(〒)、⑤電話、ファックス番号、⑥勤務先(所属)
※必須項目以外にも、必要な項目がある場合がありますので、チラシ等で確認ください。

- 申込締切…10月6日(月)
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、チラシ・申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください
- 受講決定…10月中旬に事業所宛に郵送にてお知らせします

大阪市内の社会福祉関係事業所に勤務する方

③健康管理講習会(第2回)感染症について

～インフルエンザと感染性胃腸炎を中心に～

社会福祉施設職員の健康の維持・増進を図るため、健康教育・啓発活動を推進する目的で、健康管理にかかる講習会を開催します。今回は、冬季に起こりやすい感染症を中心に集団感染や二次感染の予防、発生時の対応などを学びます。

- 日 時…12月15日(月)午後2時～4時
- 講 師…浅井 晃(一般社団法人大阪府医師会 介護・高齢者福祉委員会委員)
- 定 員…80人(先着順)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 大会議室(5階)
- 受講料…1,000円
- 申込締切…11月14日(金)
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、チラシ・申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください
- 受講決定…11月下旬に事業所宛に郵送にてお知らせします

大阪市内在住・在勤・在学者

④市民のための認知症介護講演会 認知症の治療とケア

市民の介護に関する意識啓発や介護知識・介護技術の普及などを行うことにより、高齢者の生活の質の確保を図るとともに、高齢者を社会全体で支える地域づくりを支援することを目的に開催し、本講演会では、認知症に関する医療的な知識及びケアについて学びます。

- 日 時…12月20日(土)
午前10時30分～午後0時30分
- 講 師…金本 元勝(大阪市立弘済院附属病院・認知症疾患医療センター 医師)
- 定 員…100人(先着順)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 大会議室(5階)
- 受講料…無料

- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、チラシ・申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください
- 申込締切…11月20日(木)
- 決定通知…11月下旬頃に郵送にてご連絡します

大阪市内在住・在勤・在学者

⑤社会福祉史の市民講座特別企画 現代に息づく石井十次の思想から、 今日の福祉課題に立ち向かう社会 福祉実践を考える (石井十次没後100年企画)

石井十次は日本で最初に孤児院(岡山孤児院)を創設した人物で「児童福祉の父」といわれており、その思想や実践は全国各地に引き継がれています。大阪においては、岡山孤児院の分院(現在の石井記念愛染園)を設けるなど、軌跡を残しています。本講座では、石井十次没後100年にあたり、明治・大正時代の石井十次の信念と実績を振り返りながら、今日的な社会課題に私たちがどう立ち向かっていけばいいか考えます。

- 日 時…12月6日(土)
午後1時30分～4時30分
(プレ企画午前10時30分～)
- 内 容…プレ企画:映画上映会「石井のおとうさんありがとう」上映
第一部:講演会:石井十次のロマンと軌跡～宮崎での実践を中心に～
第二部:現代に息づく石井十次の思想から、今日の福祉課題に立ち向かう社会福祉実践を語る
- 講 師…第一部:児嶋 草次郎((社福)石井記念友愛社 理事長/宮崎県、石井十次の曾孫)
第二部:児嶋 草次郎、小谷啓二((社福)石井記念愛染園 理事)、永岡 正己(日本福祉大学教授)
- 定 員…100人(先着順)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 大会議室(5階)
- 受講料…無料
- 申込締切…12月1日(月)
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、チラシ・申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください
- 受講決定…受講証を郵送にてご連絡します

あなたの“学びたい”“知りたい”を「ウェルふるネット」が応援!



大阪市福祉人材養成連絡協議会のホームページ

<http://www.welful.net/>

社会福祉に関する研修・イベント・報告書などの情報満載! ウェルふるネット



新しい情報が更新されれば
随時お知らせ

目的にあった情報を
検索することが可能



メールマガジンの登録はこちらから

メールマガジンのご紹介

ウェルふるネットメールマガジン「Informationマーケット」

福祉に関する研修の情報を月1回お届けします。ご購入は登録フォームからメールアドレスをご登録ください。購読料は無料です。通信費は各自のご負担となります。

バックナンバーは[こちら](#)からご覧いただけます。
※平成22年12月までのバックナンバーは[こちら](#)から

発行期間
月1回

メールマガジンの登録

パソコンへのメールマガジン配信は[こちら](#)

毎月1回
メールマガジンを配信。
最新の情報が
あなたの元に届きます

パソコンへの配信希望者は、ホームページ上の申し込みフォームから申し込んでください。

●携帯電話への配信も可能ですので
次の手順でお申し込みください。

- ①携帯電話の受信制限をかけている方は、メールマガジンの配信元メールアドレス「jinzai@shakyo-osaka.jp」を受信できるように設定操作してください。
- ②右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。
- ③登録完了メールが届きます。

※購読料は無料です。
通信費は各自の負担となります。



大阪市社会福祉研修・情報センター

facebook 始めました!

研修の告知・研修のレポート報告
普段のスタッフの様子、知って得する豆知識など
随時更新していきます!

Facebookはどなたでもご覧になれます。

⇒ Facebookページへアクセス!



皆様のいいね! お待ちしています!!



◆お問い合わせ先◆

大阪市社会福祉研修・情報センター TEL (06) 4392-8201 FAX (06) 4392-8272

福祉の歴史散歩

大阪の福祉の源流をたどる



大阪市における 高齢者福祉の取り組みとその歩み②

本稿は三話完結の第二話です。

大正時代の大阪市では、上下水道、市電、築港、都市計画など先進的な事業が次々と打ち出されていました。

福祉事業の進展は「弘済会(大正元(1912)年8月に財団法人)」の創設に始まります。同会は、火災の罹災者、軍人の遺家族のうち救助を要するものの授産及び養育、棄児及び孤児貧児等の養育、窮民の救済、救貧病院、救療施薬を定め、漸次実施する事業としては、貧民子女の昼間保育や簡易貧児幼稚園、職業紹介所等を掲げていました。

このうち「養老部」は大正2(1913)年、大阪養老院より93人の高齢者を引き取り、健康な人50人を養老院に入所させました。大正時代の入所者の合計は、1,472人が入って1,209人が出ており、利用者の入れ替わりも少なくありませんでした。

行政においては府市ともに「救済課」を設置しています。その後、大阪市は大正9(1920)年に民生局・健康福祉局の前身となる「社会部(4課)」を新設、同年、方面委員制度という画期的な制度が創設されています。

一方、救済資金募集などを通じた民間の協力も大きな支援となりました。この資金を活用して、大阪市の社会事業は、全国に例を見ないさまざまな事業や調査活動を実施しています。高齢者福祉の主流は、市窮民救助規則による救助と養老施設(大正15年末に3カ所)への入所でした。大正12(1923)年6月～15年2月の世帯主を調査したところ、60歳以上は全体の3分の1で、女性世帯主は45.6%を占めていました。

大阪養老院と弘済会が発起し、大阪養老院にて「第1回全国養老事業大会(23施設)」を開いたのもこの時期です。しかし、第2回の大会は、昭和7(1932)年まで開催されず、民間事業者の連絡調整の難しさが伺えます。

ちなみに大正時代の大阪市社会事業関係決算額は、昭和15(1940)年で、大正6(1917)年時の52.8倍に膨らんでいます(15年では449万円5千円)。

昭和にはいっても、深刻な不況が続き、大阪

市でも昭和5(1930)年で3万190人の失業者を出していました。このような中で昭和13(1938)年に「厚生省」が設置され、社会事業においては「救護法」(昭和7年に施行)が制定され、我が国の近代的な公的扶助がスタートします。ここに、福祉に対する国家責任を明確にしたわけです。

救護法の対象は、65歳以上の老衰者、13歳以下の幼児、妊産婦、不具廃疾、傷病者等です。これまで「70歳以上」だった高齢者の年齢が引き下げられています。

しかし、大阪で救護法が適用されるのは、保護すべき5,046人に対して、わずか801人、6分の1にすぎません(昭和4年の大阪市調査)。高齢者における救護法の適用率は、全国平均で23.3%ですが、大阪市は15.2%です。しかし、施設入所率は大阪市のほうが高いのです。このことから、一人で生活していけない人が多かったことが推察されます。救護法だけで、国民の生活を守るには不十分でした。母子保護法、軍事扶助法や、医療保護法で補完していたといってもいいでしょう。

大戦に入り、大阪は全市域の27%が焼土化し、社会事業施設も半数が全半壊の被害を受けました。まちには戦災者、引揚者であふれ、地方からきた人も含め、住居のない人が急増しました。昭和20(1945)年から22年まで、住居のない人は1万1,000人余りで、このうち4.4%が61歳以上の高齢者でした。大阪市は昭和20年3月、大阪駅と天王寺駅に「戦時相談所」、大阪駅には「保護所」を設け、このような人たちに対応していました。

終戦後、生活保護法(旧法)が昭和21(1946)年から施行され、25(1950)年には全面改正の新法が施行されます。この新法が現在まで続いている「生活保護」です。ようやく近代的な国家責任が整ってきました。高齢者も法に包含されて運用され、施設としての養老院も位置付けられました。

この時期は、各種福祉法が施行され、国家責任による大幅な整備が行われています。高齢者福祉における進んだ取り組みの萌芽期でもありました。

大阪市の主な動きは、社会部から民生局に名称変更、民生安定所を福祉事務所に改称し、全区へ設置し、市民に身近な福祉の窓口ができました。「社会福祉協議会」は、昭和25年、26年にそれぞれ大阪市と区に設立されています。

福祉ニーズ調査活動については、区レベルの調査は大淀区でありましたが、市レベルでの初調査は、大阪市立大学で実施されました(対象:70歳以上・524人)。

また、大阪市は、高齢者福祉対策予算を昭和28(1953)年度に初めて5万円を計上し、28年9月「おとしよりの日」の開催経費としました。これまでは運営主体の社会福祉協議会が独自に進めていましたが、お祝い開催を初めて公費で賄いました。

全国では、国民皆保険・年金制度、老人福祉法制化、施設整備費・家庭奉仕員派遣制度などの法制化に先行した対策が打ち出されています。

大阪で、特徴的なのは、老人クラブ結成への助成・育成です。市の老人クラブは昭和32年から、組織化を図り、全国に比べ、大幅にその数を増やしています。老人クラブと並行して、老人福祉講座や老人学校などで高齢者問題の啓蒙活動を行いました。さらに、老人クラブ事業のため、バスの借り上げや市所有バスの「鶴号」「亀号」の使用を供与し、高齢者の社会参加を促進しました。

もうひとつ特筆すべきことは昭和33(1958)年、奉仕員家庭派遣制度が、都市部では全国で初めて発足したことです。サービスの7割が洗濯、縫物、掃除、炊事です。民生委員制度40周年を記念して、民生委員連盟に事業委託しました。昭和37(1962)年度にはヘルパー47人、派遣世帯291、2,019回の派遣が実施されました。37年度の経費は815万円でした。

この時期の高齢者福祉対策経費をみると、37年度で1,393万6千円、28年度と比べ195倍に増加しています。用途の約80%は、老人クラブ関係と家庭奉仕員派遣の経費でした。

※この稿は大阪市社会福祉研修・情報センターで平成22年2月27日に開催された「社会福祉史の市民講座」の講演(講師:武内貴夫 元大阪市高齢者福祉課長)の聴き取り(言葉については歴史的事実として当時の表現をそのまま使用しています)から抜粋したものです。



図書紹介

「社会福祉法人だからできた 誰も制度の谷間に落とさない福祉」

大阪府社会福祉協議会 編著
ミネルヴァ書房 2013年
社会福祉協議会と老人福祉施設が取り組んだワンストップで実行力のあるシステムを紹介。今困っている人を、今助ける福祉を実現させた方法とは？



「ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるで!」

長尾 和宏・丸尾 多重子 著
ブックマン社 2014年
なぜ、歩いて施設に入所したのにたった数ヶ月で寝たきりになるの?認知症ケア、介護施設において、今何が起きているのか。医療と介護の最前線にいる著者2人が率直に語り合う。



「難病カルテ 患者たちのいま」

蒔田 備憲 著 生活書院 2014年
難病は「特別な人」がなるものでも、「悪いことをした罰」がもたらしたものでもない。治らない病気を抱えて生きるその日常を描いて全国的な反響を呼んだ新聞連載が書籍化。



DVD紹介

「はじめての知的障害者雇用」

アローウィン 48分 2009年
障がい者雇用を立ち上げ軌道に乗せた企業を取り上げ、どのような道筋を通り、何に配慮したかなど、障がい者を雇用するとは本来どのようなことなのかを踏まえた取り組みを紹介している。



「新人・若手職員のためのストレスマネジメント研修〈メンタルヘルス〉(医療・介護従事者向け)」

日本士業協会 55分 2012年
医療介護業界の新人、若手職員向けに〈メンタルヘルス〉を中心としたストレスマネジメントについて講義したDVD。ストレスが多い医療介護現場でどうやってストレスと付き合っていくべきかを学べる。



「くちづけ」

東映 123分 2013年
7歳の心のまま大人になったマコ。最愛の父“いっぽん”とずっと一緒にいるはずだった…。なのに、彼女は何故死んでしまったのか?実在の事件をもとに描かれる、父娘の深い愛。



図書・資料閲覧室からのお知らせ

介護食のレシピ本紹介

秋といえばスポーツ、芸術、そして食欲の秋♪
見た目も楽しく、味もおいしい!そんな介護食のレシピ本を紹介します!

「がん専任栄養士が患者さんの声を聞いてつくった73の食事レシピ」

川口 美喜子、青山 広美 著 医学書院
日本で唯一の「がん専任栄養士」が珠玉の食事レシピ73品を大公開!



「幸せの介護食レシピ100 在宅でも手軽においしく!」

NPO法人 LET'S食の絆 編 旭屋出版
栄養面のニーズを満たすだけでなく、食欲がわいてくる楽しい料理とそのレシピを紹介!



他にも、介護食の本を多数、所蔵しています。ぜひご活用ください!

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや福祉の関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

☎06-4392-8233



生活習慣病予防のため特定健診を受けましょう!

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するためには毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値を見ていくことで、結果が正常の範囲内でも、どの項目が変化しているのか、気づくことができます。

対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう!

対象者	大阪市国民健康保険に加入されている40歳以上の方 (来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)
受診場所	①各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場 ②府内取扱医療機関
検査内容 (基本的な項目)	●身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血中脂質検査・肝機能検査 血糖検査・尿検査 ●腎機能検査(大阪市以外の医療機関では実施しません)
費用	無料
必要な物	「受診券」、「国民健康保険被保険者証(保険証)」「個人票」

*受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区の保険年金業務担当(保険年金:保険)にお問い合わせください。

*75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

【内容へのお問い合わせ】

大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)

☎06-6208-9876 ☎06-6202-4156

健康と思う今こそ、受けよう検診!

●大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。2人に1人がなる病気、定期的に忘れず検診を受けましょう。

検診種別:乳がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診

●がん検診以外の検診も実施しています。

検診種別:B・C型肝炎ウィルス検査、骨量検査、歯周疾患検診

●上記の検診は、対象者や費用などがそれぞれ異なりますので、詳しい内容は下記までお問い合わせください。

【内容へのお問い合わせ】

大阪市健康局健康づくり課(成人保健グループ) ☎06-6208-9943

健康生活 応援グッズ

シルバーカーで
楽しく外出!

シルバーカー

ファッション感覚に
こだわったスリムタイプ



●**ライトステップ・タイニーW ヌーボ**
これまでにない洗練されたおしゃれな柄とデザイン、収納力にもすぐれたコンパクトタイプのシルバーカー。折りたたみ可能で、本体重量4.0kg。

コンパクトで軽量!
背の高い方から小柄な方にも対応可能



●**テイコブナノン DX**
押し手の高さがワンタッチで調節できるので、使う人の身長に合わせて負担なく使用でき、折り畳めば約60cmに。専用のキャリーバック付き。

歩きやすさや荷物の収納量など
機能性を追求



●**フォルテ**
体をU字ハンドルの中に入れて安定した歩行が可能な街歩きスタビリティーカー。荷物もたっぷり収納でき、折りたたみ可能なので持ち運びも便利。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪府中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター2階

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894
http://kansil.jp

今月の 自助具 ボトルオープナー

資料提供 HUMAN 岡田英志さん

主な適応疾患・対象者▶

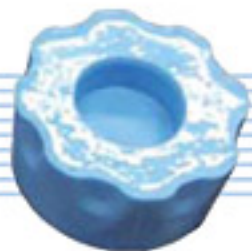
●手に力が入らず、ボトルの蓋が開けにくくなった方。

機能・特徴▶

●ボトルの蓋にオープナーを被せることで径が大きくなり、握ってひねると弱い力でも開けることができる。

使い方▶

●ボトル本体を片手で押さえ、もう一方の手でボトルの蓋に被せたオープナーを握ってひねると蓋が開く。



問合せ▶大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋
☎06-6940-4189(月・水・金 10:00~15:00)

相談日を拡充します!

毎月第1・3水曜日も「福祉職員のためのメンタルヘルス相談」開設!

福祉の仕事に携わる職員の方々のストレスから生じる様々な問題の相談について、これまでは、毎週土曜日(祝日の土曜日も実施)、午前9時30分～午後4時、臨床心理士による電話相談及び来所相談を行っていますが、新たに9月から、第1・3水曜日も相談を実施しています。

ご本人だけでなく、職場の同僚や上司の方からの相談も受け付けています。



●メンタルヘルスセルフチェック

- | | |
|--|--|
| こんなことはありませんか? | <input type="checkbox"/> 自分だけが頑張っていると思う |
| <input type="checkbox"/> いらいらしてだれかに当たってしまう | <input type="checkbox"/> だれも自分のことを理解してくれない |
| <input type="checkbox"/> なかなか疲れが取れない | <input type="checkbox"/> 常に仕事のことが頭から離れない |
| <input type="checkbox"/> やる気がおきない | <input type="checkbox"/> 仕事のミスが増えてきた |
| <input type="checkbox"/> 不安になったり心配になったりして気持ちが安定しない | <input type="checkbox"/> この仕事に向いていないのではないかと思う |
| <input type="checkbox"/> 職場に行くのがつらい | <input type="checkbox"/> 自分の仕事に自信が持てない |
| <input type="checkbox"/> 気がつくと、職場の仲間の輪から外れている | <input type="checkbox"/> もっと利用者やその家族と良い関わりをしたいのにできない |
| <input type="checkbox"/> 職場の人間関係がうまくいかない | <input type="checkbox"/> お酒、タバコの量が増えた |
| <input type="checkbox"/> 毎日の業務が追われて、心のゆとりがない | |

電話または来所(まずはお電話ください)

☎06-4392-8639

大阪市社会福祉研修・情報センター

- 住所: 大阪市西成区出城2-5-20
- 相談員: 臨床心理士
- 相談料: 初期相談無料

※秘密厳守します



相談の予約については、平日の午前9時30分～午後4時30分も、受け付けています

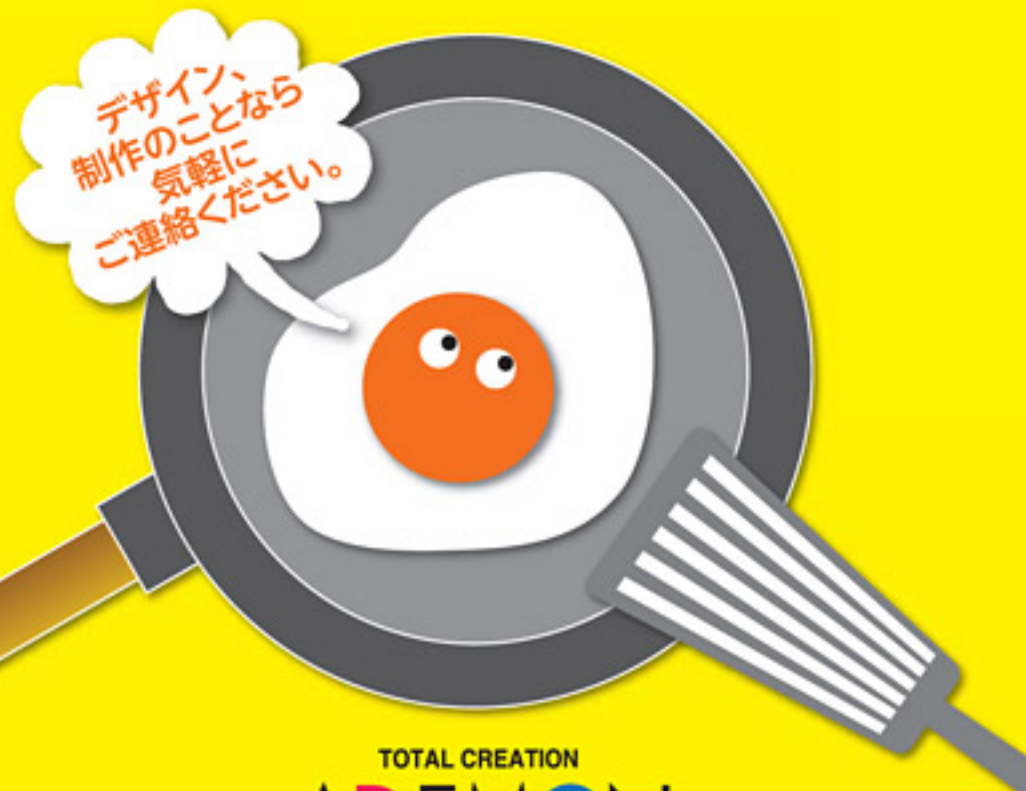
あなたのお好みに仕上げます。

パンフレットやカタログなど、

作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、

あなたのお好みに合わせて仕上げます。



デザイン、制作のことなら気軽にご連絡ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F

TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>

(広告)

福祉職員のキャリアアップを支援

福祉職員の「キャリアアップ」や「キャリアパス」について考え、生涯にわたって利用者や地域社会、所属する組織・事業所等に貢献できる人材になる指針「福祉関係従事者生涯研修体系図～階層ごとに学ぶ教育要素～」を掲載したパンフレットを作成しました。

ぜひ、ご活用ください。

- 問合せは、大阪市福祉人材養成連絡協議会事務局(大阪市社会福祉研修・情報センター)まで



大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
 ただし、図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

●それぞれの開設日・時間

項目	直通電話番号	開設日(休館日を除く)	開設時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	毎日	午前9時～午後9時(土・日午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201		午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室	06-4392-8233	月～土曜日	午前9時30分～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様により計画的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申込みを受付けています。

1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6カ月分掲載。

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

2 利用申込の受付は5カ月前からです。

利用日の5カ月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

●FAXによる申し込み手続きの手順

FAXによる申込は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「FAXでのお申し込み」に、申込手順を掲載しています。

FAX06-4392-8206

※ファックスでの申し込み可能な期間は、利用日の5カ月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次の通りです。ご予約は利用日の5か月前からです。

平成26年10月から

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	昼夜間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

※次の会議室等については、平成26年9月末を持って供用廃止となりました。

(単位:円)

4階	調理実習室		
5階	会議室2	講座室1・2	演習室1～4

交通 / ご来所には【市バス】【地下鉄】【JR】をご利用ください

●市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

●市営地下鉄・四つ橋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分
「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約9分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / ☎06-4392-8206

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

人権啓発キャッチコピー

(テーマ)多文化共生社会の実現のために

「同じ」を喜ぼう 「違い」を楽しもう

中田 美智子さん(平成24年度「人権啓発ポスターデザイン・キャッチコピー募集」事業 人権啓発キャッチコピーの部 佳作)の作品です。